

事前評価書

- 1 事業名 畑地帯総合土地改良事業
地区名 伏見屋地区

2 事業概要

- (1)位置 碧南市
(2)規模・内容 用水路工 L=27.9km
(3)予定期間 平成20年度 ~ 平成25年度
(4)総事業費(千円) 735,000千円

3 必要性

伏見屋地区は営農意欲が非常に高く県内有数の畑地帯であるが、かんがい施設は整備後20数年が経過しているため、老朽化等により漏水・破損等の被害が頻繁に発生しており、農業経営に多大な支障が生じています。このため、かんがい施設の更新を行うことにより、農業経営の改善と安定を図る必要があります。

4 事業効果

(1)費用対効果(B/C)の総括

区 分	数 値	算 式	説 明
基準年度	H19	—	
総事業費	735,000千円	①	基準年における総費用(C)
事業費	735,000千円	—	
関連事業費	—	—	
年総効果額	49,146千円/年	②	内訳は(2)表
廃用損失額	—	③	
総合耐用年数	26年	④	評価期間(年数)
還元率× (1+建設利息率)	0.0650	⑤	
妥当投資額	756,092千円	⑥=②÷⑤-③	基準年における総便益(B)
投資効率	1.02	⑦=⑥÷①	費用対効果(B/C)

(2)年総効果額の総括

(単位:千円)

効果項目	区分	年 総 効 果 額	説 明
農業生産向上効果		—	
作物生産効果		—	
農業経営向上効果		3,710	
営農経費節減効果		1,267	
維持管理費節減効果		2,443	
生産基盤保全効果		45,436	
更新効果		45,436	
計		49,146	
廃用損失額		—	

5 事業をめぐる社会情勢

碧南市は温暖な気候や恵まれた地理的条件のもと露地野菜を主体に一大産地を形成しており、タマネギ・ニンジンが県下一の収穫出荷量を誇っています。しかしながら、後継者不足や高齢化など近年の農業を取りまく環境は非常に厳しいものとなっています。このため、担い手農家の一層の規模拡大と農業経営の安定を図るために、本事業に対する地元の期待は大きくなっています。

6 その他特記事項

なし